

## 弥生、3月 地域の方の心遣いに感謝いたします。Vol.11

早いもので、新しい年になり2か月が経ちました。振り返れば2月は、「三寒四温」を、身をもって感じる月でしたがこのところはようやく安定した気候になってきたと感じます。大地に届く太陽光線、いわゆる日差しにも勢いが増し、一気に春めいてまいりました。巷では、大阪府の緊急事態宣言が解除されましたが、学校生活においては、何ら変わるところはございません。継続して感染防止対策に努めて参りますので、引き続き、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。 それでは、校内の春を告げる『花だより』をお贈りします。

校長室に生けられた、どちらも春らしいパステルカラーの花びらを持つ切り花です。右上の淡いオレンジ色でフリルの美しい花は、ご存知カーネーションです。母の日を象徴する花ですが、切り花では、年中あるのですね。また、左のパッションピンク色？の花びらをもつのは、アネモネです。アネモネは球根植物で、少しミステリアスな美しさが人気の花です。



正門の桜の枝と冬の花壇のその後の写真2枚を掲載しました。

青空に映える桜の枝の蕾は、前回1月26日と比べると2倍ほど大きく膨らみました。今年の開花はいつになるでしょうか。楽しみです。下の花もまた、前回に紹介したサクラソウ（白・ピンク色）。2月の寒風に耐え、立派に育っています。花言葉の一つに、『少年時代の希望』があります。なんともおもしろいです。

児童下足室前の廊下の角に生けられた、桃とチューリップ。手前の薄ピンク色の花と蕾を持つのは桃の木です。（ピントが合っていないのですみません）桃の花と言えば、3月3日は桃の節句＝ひな祭りが、すぐそこまできています。〈我が家も準備中〉また、生け花の下部にあるのは、まさしく春を代表する花、チューリップ。その黄色のビタミンカラーが印象的です。



花を愛でる。季節を愛でる。

環境づくり＝人づくり。感謝しております。